

令和8年度 国立国会図書館職員採用試験案内

障害者（係員級）採用試験（大卒程度試験）

<p>受験資格</p>	<p>次の①及び②の要件を満たす者</p> <p>①次のa又はbのいずれかに該当する者</p> <p>a. 昭和62（1987）年4月2日から平成18（2006）年4月1日までに生まれた者</p> <p>b. 平成18（2006）年4月2日以降に生まれた者で、次の（ア）又は（イ）のいずれかに該当する者</p> <p>（ア）学校教育法による大学、短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は令和9（2027）年3月までに卒業する見込みの者</p> <p>（イ）館長が（ア）に掲げる者と同等の資格があると認める者</p> <p>②次のcからgまでに掲げる手帳等のいずれかの交付を受けている者</p> <p>c. 身体障害者手帳</p> <p>d. 身体障害者福祉法第15条の規定により都道府県知事が定める医師が、当該都道府県において同条の申請に用いられる様式により作成した、障害の種類及び程度並びに障害者の雇用の促進等に関する法律別表に掲げる障害に該当する旨が記載された診断書・意見書</p> <p>e. 産業医又は健康管理医によるdに準じる診断書・意見書（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう若しくは直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫又は肝臓の機能の障害に係るものを除く。）</p> <p>f. 都道府県知事若しくは政令指定都市市長が発行する療育手帳等又は児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医若しくは障害者職業センターによる知的障害者であることの判定書</p> <p>g. 精神障害者保健福祉手帳</p> <p>*第2次試験の試験日及び採用時において、②に該当していることが確認できない場合、第2次試験を受験できないほか、最終合格後であっても採用しないことがあります。</p>
<p>受付期間</p>	<p>2月2日(月)10時～2月18日(水)17時(受信有効)</p> <p>受験申込サイトからのオンライン申込み</p> <p>※詳細は、国立国会図書館ホームページに掲載</p> <p>※上記の申込みが難しい場合、郵送による申込み（2月18日(水)必着）</p>
<p>第1次試験</p>	<p>【専門試験（記述式）、英語試験（多肢選択式）】</p> <p>4月18日(土)</p> <p>試験会場：東京大学教養学部（駒場Iキャンパス。東京都目黒区駒場3-8-1）</p> <p>合格者発表 5月19日(火)</p>
<p>第2次試験</p>	<p>【人物試験（個別面接）】※対面で実施</p> <p>6月11日(木)</p> <p>試験会場：国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町1-10-1）</p> <p>最終合格者発表 6月23日(火)以降</p>
<p>採用予定数</p>	<p>若干名</p>

次のいずれかに該当する者は、本試験の受験資格がありません。

- (ア) 日本の国籍を有しない者
- (イ) 国会職員法第2条の規定により国会職員となることができない者
- (ウ) 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心神耗弱を原因とするもの以外）

※詳細は当館ホームページ「令和8年度国立国会図書館職員採用試験について」

(https://www.ndl.go.jp/employ/employ_exam)を確認するか、国立国会図書館総務部人事課任用係 [03-3506-3315 [saiyo\(at\)ndl.go.jp](mailto:saiyo@ndl.go.jp) (※(at)を@に置き換えてください。)] へお問い合わせください。



国立国会図書館障害者（係員級）採用試験（大卒程度試験）

本試験は、調査業務、司書業務、一般事務等の館務を行う国立国会図書館の職員を採用するもので、人事院の行う国家公務員採用試験とは別に国立国会図書館が独自に実施している国家公務員採用試験です。

受験申込手続

(1) 当館職員採用試験の申込み

申し込むことができる試験の種類は、**総合職試験、一般職試験（大卒程度試験）、施設設備専門職員採用試験（大卒程度試験）又は障害者（係員級）採用試験（大卒程度試験）のうち1種類に限ります**（同じ年度において受験できる試験の種類は1つのみです）。

(2) 申込方法

原則、国立国会図書館ホームページにリンクを掲載する**受験申込サイトからのオンライン申込みに限ります**。受験申込サイトからの申込手順の詳細は、国立国会図書館ホームページの「令和8年度国立国会図書館職員採用試験について」（https://www.ndl.go.jp/employ/employ_exam）をご覧ください。

当該サイトからのオンライン申込みが難しい場合は、郵送による申込みを受け付けます。郵送による申込みを希望する場合は、受験申込書の交付を郵便（**2月9日(月)必着**）により請求してください。請求は国立国会図書館総務部人事課任用係宛とし、封筒の表に希望する試験の種類を朱書してください。また、返信用封筒として、受験者の氏名、住所及び郵便番号を明記して、180円分の切手（速達による送付を希望する場合は480円分の切手）を貼付した角形2号の封筒を同封してください。その他、連絡先として電話番号を記入した用紙（用紙の形式は自由）も同封してください。郵送による申込手順については、受験申込書に同封する案内をご確認ください。

宛先：〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1
国立国会図書館総務部人事課任用係

(3) 受付期間

令和8（2026）年2月2日(月)10時から**令和8（2026）年2月18日(水)17時（受信有効）**まで（郵送による申込みの場合は**2月18日(水)必着**）

(4) 申込受付後の流れについて

- ・申込みの受付が完了した後、受付の際に入力したアドレスに受付完了メールを自動送信します。
- ・3月中旬頃に、**受験票発行通知メール**をお送りします。**受験申込サイトにログインして受験票（PDF）をダウンロードし、受験番号、試験会場等をご確認ください。受験票は、A4版の紙に印刷（カラー、白黒どちらでも可）して、第1次試験会場に必ず持参してください。**
※郵送による申込者には、3月中旬までに、受験票を郵送します。
- ・**3月13日(金)正午までに通知等が到着しない場合は、国立国会図書館総務部人事課任用係[03-3506-3315]まで必ずお問い合わせください。問合せなく、受験票を持参せず試験会場に来て受検できない場合があります。**
- ・申込受付期間の終了後は、専門試験（選択科目）の変更はできません。

(5) 受験上の配慮

- ①視覚障害のある方については、その障害の程度により、点字による受験を認め、解答時間の延長（1.5倍）を行います。補助として、ご持参のパソコンのスクリーン・リーダーによる音声読み上げの併用も可能です。点字による受験を希望される方は、**2月2日(月)から2月18日(水)17時まで**に**必ず国立国会図書館総務部人事課任用係[03-3506-3315]に申し出た上で**、その指示に従い障害の程度を証明する書類を提出し、受験申込時に点字受験希望の旨を記載して申し込んでください。
- ②受験に際し、障害があるため①以外に何らかの配慮（車椅子用の座席の用意、拡大鏡・補聴器・パソコン等の持参許可、拡大文字問題の用意、試験室入口までの付添者の同伴許可等）を希望される方は、2月2日(月)から2月18日(水)17時まで国立国会図書館総務部人事課任用係 [Tel: 03-3506-3315 Fax: 03-3581-1758 電子メール: saiyo(at)ndl.go.jp ※(at)を@に置き換えてください。] に申し出た上で、受験申込時に希望する配慮の内容を記載してください。なお、内容によっては、試験の実施上、対応できない場合があります。また、配慮の対象となるかどうかを確認するため、障害の種類及び程度を証明する手帳等の写し又は専門医の診断書の提出を求める場合があります。

試験の方法

試験	試験種目	内 容	試験時間
第1次試験	専門試験（記述式）	次のうち、受験者があらかじめ選択する1科目についての筆記試験 法学（憲法、民法、行政法、国際法から受験時に2分野選択）、政治学、経済学、社会学、文学、史学（日本史、世界史から受験時に1分野選択）、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学、情報工学、生物学	90分
	英語試験（多肢選択式）	長文読解	60分
第2次試験	人物試験	個別面接（対面で実施）	

* 第1次試験合格者の決定は、専門試験及び英語試験の成績を総合して行います。

* 第1次試験の際、質問紙法による性格検査を行い、人物試験の参考とします。

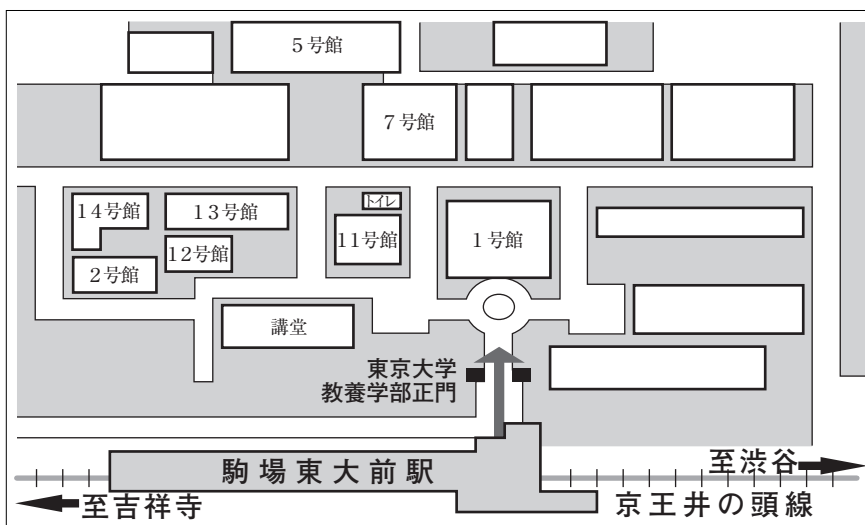
合格者発表

	日 時	方 法
第1次試験合格者発表	令和8（2026）年 5月19日（火）午前10時	合格者の受験番号を、国立国会図書館ホームページ（「採用情報」のページ）に掲載します。合格者には受験申込サイト上（郵送による申込者には郵便）で通知します。
最終合格者発表	令和8（2026）年 6月23日（火）以降	第2次試験の受験者全員に合否通知を郵送します。また、国立国会図書館ホームページ（「採用情報」のページ）に合格者の受験番号を掲載します。

第1次試験会場

* 受付時間（9：10～9：40）に遅れた場合は、受験できません。

東京大学教養学部（東京都目黒区駒場3-8-1）



・ 東京大学教養学部は、目黒区の駒場Iキャンパスにあります。文京区の本郷地区キャンパスではありません。

・ 必ず正門からお入りください。

採用・待遇等

採用年月日	原則として、令和9（2027）年4月1日					
身分・職務内容	国会職員（特別職国家公務員）*勤務条件等は一般職国家公務員とほぼ同様です。採用後は定期的な異動によって、調査業務・司書業務・一般事務等の様々な業務を行います。					
給与（初任給等） ※令和7（2025）年10月時点の制度に基づく例	令和8年度国立国会図書館職員採用一般職試験（大卒程度試験）により採用される職員と同等です。 行政職給料表（一） 1級25号給（220,000円） （参考）東京都特別区内に勤務する場合の地域手当加算後の額 264,000円 *国会職員の給与等に関する規程に基づき、期末手当、勤勉手当、扶養手当、住居手当、通勤手当等が支給されます。					
官署及び勤務地	下記いずれかの官署に配属します。 官署間の異動、東京と京都の間の転勤があります。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="2">東京</td> <td>国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町1-10-1）</td> </tr> <tr> <td>国立国会図書館国際子ども図書館（東京都台東区上野公園12-49）</td> </tr> <tr> <td>京都</td> <td>国立国会図書館関西館（京都府相楽郡精華町精華台8-1-3）</td> </tr> </table>	東京	国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町1-10-1）	国立国会図書館国際子ども図書館（東京都台東区上野公園12-49）	京都	国立国会図書館関西館（京都府相楽郡精華町精華台8-1-3）
東京	国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町1-10-1）					
	国立国会図書館国際子ども図書館（東京都台東区上野公園12-49）					
京都	国立国会図書館関西館（京都府相楽郡精華町精華台8-1-3）					
昇任	昇任の基準は原則として人事院規則に準じます。当館職員として能力の向上、経験の蓄積を図るため、複数部署の業務を経験しながら昇任することを基本とします。					
福利・厚生	衆議院共済組合国立国会図書館支部の契約する福利・厚生サービスのほか、国家公務員共済組合連合会（KKR）の運営する医療機関、宿泊施設等を組合員価格で利用できます。省庁別公務員宿舎として、東京都渋谷区に代々木上原寮（独身者用）が、京都府相楽郡精華町に京都宿舎（独身者・世帯用）があります。					

国立国会図書館総務部人事課任用係 <https://www.ndl.go.jp/employ/>

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1

Tel 03(3506)3315 Fax 03(3581)1758

電子メール saiyo(at)ndl.go.jp ※(at)を@に置き換えてください。